

公表

令和6年度 事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------------|----|-------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援 放課後等デイサービス てらすワン | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年1月6日 | | ～ 令和7年1月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 15 | (回答者数) 15 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年1月6日 | | ～ 令和7年1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月11日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 子どもは安心感をもって通所していますか・子どもは通所を楽しみにしていますか・事業所の支援に満足していますかにおいて保護者様からの評価結果がすべて「はい」だった事で、事業所に対する満足度が高い。 | ご利用者様のペースに合わせ、一人ひとりに寄り添う気持ちを職員一同が大切に考え支援を行っています。保護者様に対しても丁寧な対応を心がけています。 | 支援の維持、さらに充実を図るため、職員間での情報共有を確実にし、ご利用者様が増加した場合にも対応できるように人員体制を強化していく。 |
| 2 | 子どもの活動スペース・生活空間やバリアフリー化・清潔で心地よく過ごせる環境等においての評価が高い。 | 多目的室・訓練室・トイレ・浴室等全てバリアフリーとなっており、車椅子やバギーに乗りたまま移動が行えるような環境を整えており、営業終了後は毎日必ず清掃を実施し清潔を保持しています。 | ご利用者様に心地よく過ごしてもらえる環境とは何かを常に意識し職員全体で考えていく。 |
| 3 | 適切な支援の提供を行うことができる。 | ご利用者様の支援前後に職員間(多職種)での情報共有を必ず行うようにしています。 | ご利用者様一人ひとりに療育・生活面でのサポート(入浴等)が個別支援計画に基づいて実施されているのかを職員間で話し合い、多職種からなる意見を取り入れ、適切な支援が実施できる環境を整えていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | ペアレントトレーニングや家族等も参加できる研修会・情報提供の機会が提供できていない。 | 個別に情報提供は行っているが、研修会として情報提供の機会を設定することができていない。 | 研修会として情報提供の機会をご希望されるかの保護者様のご意見をお聞きし、その上でご希望があった場合には開催の検討を進めていく。 |
| 2 | 父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士、きょうだい同士の交流の機会の提供ができていない。 | 業務上または職員調整の都合で、保護者様同士やきょうだい同士の交流機会を設定することができていない。 | 保護者様同士が交流できる機会の検討を進める。 |
| 3 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他の必要な訓練が行われているかの周知不足がある。 | 非常災害に備え訓練は行っていますが、保護者様への周知ができていない。 | 避難訓練を行った日や実施内容の周知を図っていく。 |